



こんにちは、校長の内田です。

現在、高等学校は入学者選抜の真っ最中です。

すでに募集期間は終わりました。(募集結果は、県のホームページ・学校のホームページで公開されています。)

また、2月4日(火)～6日(木)(*6日は正午まで)は志願変更期間になります。志願変更の状況は毎日学校のホームページで公開されています。必要な人は確認を試みてください。

2月14日(金)は、一般募集では学力検査と自己表現検査、在県外国人等特別募集では学力検査と面接(※特別募集には自己表現検査はありません)、17日(月)が一般募集の午前部の面接、18日(火)が一般募集の午後部の面接です。

そして、2月28日(金)が合格発表です。

受検生のみなさんは、体調に十分注意をしてくださいね。

その間の在校生の方ですが、午前部は2月14日(金)～21日(金)、午後部は2月13日(木)～20日(木)は臨時休校となります。26日(水)から後期の期末試験も始まります。単位認定に向けて、しっかり勉強に取り組んでください。



この時期、先生方は入試に向けて着々と準備を重ねてくれています。

「入学者選抜での間違いは、一人の受検生の人生をも変えてしまうことがあるので絶対に間違いをすることは許されない。」そんな気持ちで緊張感をもって臨んでくれています。その上、定期試験問題の作成もあり、先生方は本当に大変です。



校長は何をしているのかって?何もしないんじゃないって?

いえいえ、学校で起こったことはすべて校長の責任。日々、緊張感があります。入学者選抜ももちろんです。すでに来年度のことも始まっています。

暇をしてそうに見えますが、ちゃんと仕事してますよ(汗)。

入学者選抜の移り変わり

私は東京都で生まれて、1歳になる前神奈川県相模原市に引っ越し、それからずっと神奈川県育ちです。

かながわの公立小学校・中学校を卒業して、公立高校に入学…。今の受検生と同じように入学者選抜検査を受けて入りました。もう40数年前のお話(笑)。

その頃は面接とがなく、「学力検査」と「調査書」、中学2年の3学期に行われる「アチーブメント・テスト（通称 ア・テスト）」の結果が総合的に判断されて、合否が決まっていた模様（?）。当時中学生だった私には詳しくはわかりません。

ア・テストは9教科×50点で450点満点。これが受ける学校を決める一つになってたのは間違いないと思うのですが…。〇〇高校に行くには最低でも△△△点以上とか、△△△点だったら□□高校は難しいとか、そんなことも言われてました。

なので、中学2年の時から過去問を買って勉強したような記憶があります。



志願の仕方も今とは違って、中学校から同じ高校を志願する生徒が集まって、集団でその高校の受付窓口に行き、代表が「〇〇中学校から来ました。◇◇です。▲▲名の願書と受験料を持ってきました。よろしくお願ひします。」と言って渡したような記憶があります。

当然、誰が受けているかはモロバレですね。

合格発表も、各学校の掲示板上（ネットではありません）に受験生みんなで見に行きました。



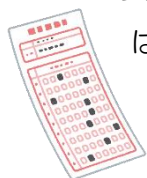
時間になると、高校の先生が布で覆われた掲示板上を運んで来て（めちゃアナログですね）、発表の時間になるとその布をはがします。そこには受験番号と名前が書かれていました。

誰が受かって、誰が落ちたかは一目瞭然。今じゃ考えられないだろうけど…。歓声に隠れて、そっとその場を離れる子がいたことも記憶にあります。

また、その結果が、神奈川新聞に載りました。当然、同級生の誰がどこの学校に受かったか、受からなかったかはすぐにわかってしまう。

そんな個人情報に対する意識の時代だったんですね。今や考えられません。

入試の制度も、「複数志願制」と言われる1回の試験で第1希望第2希望に分けて志願できるものになり、次に「前期・後期選抜」（言い方は正しいかわかりませんが）になりました。前期選抜は学力検査を行わない選抜、後期は学力検査を行う選抜方法でした。



その後、現在に近い全員が学力検査と面接の選抜になり、今は、面接は学校によって行うところと行わないところがあるようになりました。

回答方法も、記述式からマークシートになりましたね。

先^{さき}に書^かいた志願^{しがん}の方法^{ほうほう}や発表^{はっぴょう}の仕方^{しかた}も変わ^かってきています。

これは、個人情報^{こじんじょうほう}の保護^{ほご}やコロナ^{こと}の事^{こと}もあり変わ^かってきたのだと思^{おも}います。



以前^{いぜん}は一人^{ひとり}ひとりが受検^{じゅけん}する学校^{がっこう}へ願書^{がんしょ}を持^もって行^いったですが、昨年^{さくねん}よりインターネット^{いんたーねーと}で出願^{しゅつがん}できるように。

合格^{ごうかく}発表^{はっぴょう}も、封筒^{ふうとう}に入^{はい}った合否^{ごうひ}結果^{けつた}通知書^{つうしよ}を一人^{ひとり}ひとりに渡^{わた}して結果^{けつた}がわかりましたが、一昨^{いっさくねん}年^{ねん}よりネットで見^みられるようになりまし

受検^{じゅけんりょう}料^{りょう}も現金^{げんきん}から銀行^{ぎんこう}での振り込^{ふりこ}み、コンビニでの振り込^{ふりこ}みができるように。さらにクレジット^{けっさい}決済^{けつさい}もできるようになっています。

どんどん便利^{べんり}に進化^{しんか}してますね。

ただ、今^{いま}までは受検^{じゅけん}まです出願^{しゅつがん}で一度^{いちど}は学校^{がっこう}に来^くることがあったはずなのに、インターネット^{いんたーねーと}で申し込^{もう}めるようになって便利^{べんり}になった反面^{はんめん}、受検^{じゅけん}の時^{とき}が初^{はじ}めて志望^{しぼう}する学校^{がっこう}に来^くるなんてことありうるわけで…。



学校^{がっこう}までどのくらいの時^{じかん}がかかるとか、どこにあるのかとか、知^しっておくことは受検^{じゅけん}の時^{とき}だけでなく、3~4年間^{ねんかん}過^すぐ学校^{がっこう}にちゃんとお通^{かよ}えるのかを知る^しる大事^{だいじ}なことだと思^{おも}うのですが…。

あっ、学区^{がくく}もなくなりました。今^{いま}や県内^{けんない}の県立^{けんりつ}学校^{がっこう}をどこでも受^うけられるようになりました。

長^{なが}々と入学者^{にゅうがくしゃ}選^{せん}抜^{はつ}の事^{こと}を書^かきました。記憶^{きおく}で書^かいたので正^{ただ}しいとは限^{かぎ}りません。

昔^{むかし}と今^{いま}はだいぶ違^{ちが}うし、今^{いま}と未来^{みらい}もだいぶ違^{ちが}うんだらうなあ。

今^{きょう}日は少^{すこ}しまじめな話^{はなし}を書^かいてみました。

今^{きょう}日はここまでです。(了^{りょう})